



新宿区立津久戸小学校（地域協働学校準備校）

平成 27 年 5 月 22 日

運 営 協 議 会 だ よ り

第 2 号

代表 中 井 啓 之

校長 八 田 瑞 穂

第 2 回地域協働学校準備校運営委員会が開催されましたので、議事の概要をご報告します。

■日 時 平成 27 年 5 月 15 日（金）16 時～17 時 20 分

■場 所 津久戸小学校 会議室

■司 会 運営委員会代表 中井 啓之

1. 代表挨拶

こんにちは。今回は運営委員会代表・副代表決めました。この場は、皆さんの意見を忌憚なくまとめ、運営していく会です。活発な会にしていきたいと思います。様々な立場から、決め事なく考えていること、課題などを提案していき、今後の方向性を議論していきたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

2. 前回出席していなかった委員の自己紹介

3. 意見交換

①それぞれの希望や要求を一方的に言ってもよくない。それぞれの立場から学校・家庭・地域の関わりをどう思うか。

- ・子供たち、保護者の協力で成り立っている良い学校である。

子供が最高学年になった時「こうあるべき」という自覚が身についている。

保護者・地域・学校と協力する姿を見れば、社会に出ても良いサイクルで回るのでは。

- ・地域の方々とともに情報を共有できれば、子供たちと地域の繋がりもより強くなるのでは。

（人材・学習にも役立つ自然が多い場所など）

- ・子供が卒業してだいぶ経過するので、学校の様子が正直わからない。

- ・それぞれの立場からそれぞれに求めるものの、その中心にいる子供たちへ求めるものに乖離がある。

②「地域協働学校」の周知の仕方

- ・掲示板に掲載・回覧板を回す・地域センターに掲示依頼 等

- ・4 月 25 日発行の区報に掲載済み。反響も多いので区民も期待しているのでは。（教育支援課）

③今後の展望について

- ・準備期間の間に、地域協働学校を知ってもらう。

（例：誰でも分かり参加できるような夏祭りや体操教室などイベントを開催し、交流し顔見知りを増やす。）

- ・短期目標、長期目標など無理のない範囲で目標を掲げる。シンプルなビジョンで。

- ・一部の既存の PTA 活動共催の場合、どこが地域協働学校の行事なのかということを児童や保護者にも認知してもらう仕組みを考える。一度組み立ててみて、具体的に考える。

- ・活動の柱を何本か立てて肉付けしていく。（運動能力の向上・防災・環境等）

- ・「主旨がよく理解できないから参加しない」という場合もある。

学校・家庭・地域と連携を取りながら準備を進めていく。

- ・他の学校が活動していないような、それぞれが抱えている問題の解決化を図ってみる。
(保護者同士・地域同士との関わり合いのできるコミュニティ作り、子供同士で友人のよいところを投票し合う、子供たちに1年間を通じてのアンケートを取る 等)
- ・ニュートラルに全員参加ができるような形にしてはどうか。
- ・子供の笑顔が増えるような会になれば。
- ・既存の PTA 活動に取り入れる、というばかりでは、保護者の負担も増えてなかなか難しい。

4. 次回への課題

- ・徐々に高まってきたと思う。
どこを目指すのか、もう少し情報交換し共有して、フリーディスカッションの場を設ける。

5. 次回の予定

6 月 11 日 (木) 15 時から津久戸小会議室で行います。(次回のみ 15 時開始となります。)

出席者

中井啓之、川端喜美、高梨昌代、奈須野稔久、丸山勝子、林天延、小川恭伸、大塚香、八田瑞穂、松田和繁
千葉潤子 (副校長)、滝上康之 (生活指導主幹)、長澤桂子 (教務主任)、武藤史雄 (教諭)
教育支援課 (柴香里係長、中山佳苗主任)、書記 (高田麻紀子 P T A 副会長)

地域協働学校準備校運営委員会メンバー

代 表	中井啓之 (卒業生、元 P T A 会長)
副代表	川端喜美 (青少年育成委員会 総務部長)
委 員	高梨昌代 (スクールコーディネーター)
	奈須野稔久 (赤城元町町会長)
	丸山勝子 (箆笥町地区民生児童委員)
	林 天延 (P T A 会長)
	小川恭伸 (前 P T A 会長)
	大塚 香 (東五軒町児童館・学童クラブ・地域交流館 総合館長)
	松田和繁 ((株) 熊谷組 CSR 推進室 CS 推進グループ部長)
	八田瑞穂 (校長)

地域協働学校準備校運営委員会はすべて公開です。
どなたでも参加して、意見を述べることができます。